

大地の風

加美町農業委員会
加美町字長檀75番地2
☎0229-67-5411

第33号

令和5年10月発行



視線の先に

未来を見据え

【関連記事はP5に掲載】

いまの農業に思う

農業委員会会長 板垣文一

コロナ禍や、円安・ウクライナ戦争などの影響を受け、生産資材の高騰が続いています。農産物への価格転嫁ができない中で、農業経営の悪化、即ち農業収入の減少が避けられない状況になっています。この事により離農する農家が増加することも心配されます。

こうした状況の中で、肥料や飼料・燃料の高騰対策の方向性として二つ考えられると思います。一つは農家の対応であり、堆肥等有機質肥料の活用や、ラジヘリやドローンを使った適切な肥料投下や作業の効率化、そして自給飼料の生産拡大や飼料用米の活用などが考えられます。もう一つは、個人的な努力は限界がある事から、JAによる資材価格の高騰抑制対策や、町や県・国等行政による助成金や交付金などの政策的支援の拡充にあると思います。

農家にとって厳しい状況下にはありますが、そうした対応が国内で食料自給率を高めていく一つの方法になると思います。

トピックス

P 2

・さつまいも植え

P 3

・活動報告①

・新任委員の紹介

P 4

・活動報告②

P 5

・農家を訪ねて in 東鹿原

・農地パトロール

P 6

・農活雑感

・編集後記



食農教育推進事業♥JA加美よつば共催

さつまいも植えました



みやざき園 5/30
おのだひがし園・にし園 5/30
中新田保育所 5/31

恒例の園児達によるさつまいもの植え付けが行われました。子供達は晴天の中、黄色い声をあげながら楽しそうに植え付けを行っていました。

元気にごあいさつ



大きくな〜れ
大きくな〜れ



今年は、おのだ・みやざき園初の合同作業となりました。

先生のお話をよく聞いて…



はじめての合同作業でしたが、みなさん大変よくできました。収穫が楽しみです。



取材：農地利用最適化推進委員 尾形 明

農業委員会活動報告

みやぎアグリレディス21 通常総会・研修会

～農業への新規参入者が求める支援について～

令和5年
6月12日開催

アグリレディス21 通常総会がホテル白萩で開催されました。第5次男女共同参画基本計画の目標である女性の割合30%の達成に向け様々な取り組みを行い、県内全ての農業委員会において女性委員が登用されており成果目標の一つを達成しておりますが、引き続き女性農業者の社会参画の促進と女性委員の登用を強く働きかけていくことが本年度の活動内容です。

総会后、「農業への新規参入者が求める支援」と題し、自然農場風天 中山^{はじめ}建氏による講演がありました。中山氏は会社員時代に新規参入した方と話す機会があり、「自分の農場を持ってみたい。農業は一生続けられる仕事だ。」と思い転職を決断したそうです。農地を取得するには農業委員の協力はできません。「積極的に農地を探し、紹介してほしい。」また、取り敢えず様子を見るのではなく温かい目で声を掛けてもらうととても心強いそうです。

彼のような若者が自分の経験や楽しさを広く発信すれば農業に携わる人が増え、少しでも担い手不足の解消になってほしいと思いました。



中山先生の話に熱心に耳を傾ける女性委員

取材：農業委員 中村 貴美子

新しい農業委員と農地利用最適化推進委員を紹介します

農業委員会では今年1月、欠員となっていた農地利用最適化推進委員2名の公募を行いました。令和5年4月1日、農地利用最適化推進委員2名に農業委員会より委嘱状を交付しました。任期は令和7年3月31日までです。

農地利用最適化推進委員



本田 浩（雑式の目）

中新田鳴瀬

農業経営を担う人材の確保、育成を図る為にも就農希望者と離農者とのマッチングといった第三者への継承も積極的に進め農地利用最適化推進委員として精一杯努めたいと思います。

農地利用最適化推進委員



下山 啓一（長清水）

西小野田

区域農業の為、微力ながら役に立てればと思いますので、皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

農地利用最適化推進委員



氏名（行政区）

担当区域

頼もしい仲間ができたよ！
農地利用最適化推進委員が2人だよ。
みんな新人さんだよ。みんなよろしくだ〜ご♥

農業委員会活動報告

農業委員会研修会

～地域計画策定に向けた
具体的な進め方について～

令和5年
6月26日開催

人・農地プラン（地域農業の将来の在り方）から「地域計画策定に向けた具体的な進め方について」と題して東北農政局地域計画推進課北原崇行指導官を迎えて農業委員会研修会を開催しました。

これまで、地域での話し合いにより、人・農地プランを作成実行してきましたが、今後、高齢化や人口減少の本格化により、農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域農地が利用されなくなることが懸念されるため、農地が利用しやすくなるよう農地の集約化等に向けて取組を加速化することが喫緊の課題ということです。

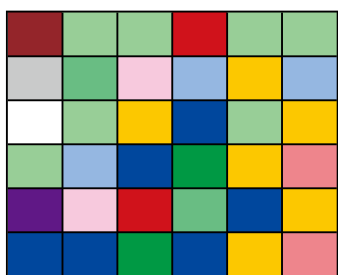
人・農地プランを法定化して、農地利用の姿を明確化する地域計画を定め、受け手を幅広く確保しながら農地バンクを活用し集約化を進めるため、「基盤強化法の改正法」が今年4月1日に施行されました。

これまで農地を守り続けてきた地域の皆さんの努力を次の世代に引き継いでいくため協議の場を設置して、農作業がしやすく手間や時間、コストを減らすことで、「将来、地域の農地を誰が利用しどうまとめていくか」集落の代表者や担い手・農業法人・新規就農者など地域関係者に参加を呼びかけ、話し合いを進めていきたいと思います。

目標地図の素案を作成し農地の出し手、受け手の意向を踏まえ現況地図に照らし合わせ目標地図を作成します。



現状

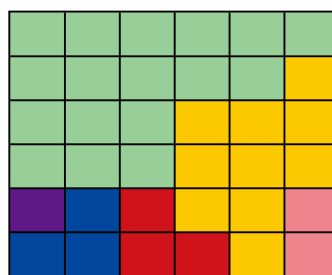


点在した農地や誰が営農するか決まっていない農地があります。

色ごとに農業者が異なる農地を表わしています。



目標地図



各農地を担う農業者を決め、まとまりのある農地で営農するあり方を示します。

目標地図は農地ごとに将来の受け手をイメージとして示すものであり、これによって権利が設定されるものではありません。農地の出し手が将来耕作できなくなったときに備え、受け手が引き受けるための案です。

地域計画は策定するだけでなく実現に向けて（令和7年3月末まで）実行すること、地域計画の実行にあたっては、県、町、農業委員会、農地バンク、JA、土地改良区などの関係者が一体となって丁寧に協議を進めたいと思いました。

取材：農業委員 尾形 徳夫



農家を訪ねて in 東鹿原

今回ご紹介するのは・・・

お名前： ^{もり}森 ^{ひかる}耀 さん

平成7年7月18日生 28歳



地域おこし協力隊として令和3年5月から翌年4月の1年間小野田地区の鹿原で営農指導を受け、26歳になった令和4年6月に自立就農を果たしました。ほうれん草を主に春菊を含め1haほど作付けされているそうです。

農業をしてよかったこととお聞きしたところ「自然の中で自由に働けること」、逆に大変だったことを聞くと「同じく自由な分、手が抜けないことと天候に左右されること」とのお答えでした。

今後の抱負として「規模拡大、品質の向上」を掲げ「今やっているものをきちんと作り続けられれば可能なことです。」と語っておられました。

今後のさらなる発展と地域に根差した活躍に期待したいと思います。

取材：農業委員 青木 拓也

農地の権利移動・設定・転用等の状況

(令和5年2月～令和5年8月)

項目	事由	件数	面積 (㎡)	
農地として 利用するための移動 農地法 第3条許可	所有権 移 転	売買	9	31,522
		贈与	9	47,786
		交換	2	981
		小計	20	80,289
	賃貸借権の設定	4	10,228	
	区分地上権の設定	2	6,708	
	使用貸借権の設定	1	4,366	
合 計		27	101,591	
賃貸借の解約 (農地法第18条通知)		25	154,401	
農地として 利用するための移動 農用地利用 集積計画	所有権移転 (売買)	18	59,823	
	利用権の設定 (賃貸借)	70	683,744	
	利用権の設定 (使用貸借)	5	144,728	
	農地中間管理機構	10	109,642	
合 計		103	997,937	
農地の転用 農地法第4・ 5条許可	自己転用	0	0	
	権利移転を伴う転用	12	7,161	
	合 計	12	7,161	



農地パトロールを 行いました

7/26・7/27・7/28

近年にない暑さの中、私たちは農地パトロール (利用状況調査) を行いました。目的は農地利用の確認、遊休農地の実態把握、違反転用の発生防止・早期発見等です。

先日、当集落で圃場整備推進の説明会が開催されました。その中で一部の方から「資材肥料高騰で農業経営に深刻な影響を及ぼしている中、今の若い人達は、負担金を払ってまで、圃場整備をするのか？」という話が出ました。私はショックな意見に落胆しました。だからこそ10年後に目指す農地利用の在り方を示す地域計画に向け、共有していかなければならない大切な情報の場だと感じました。

「農業を楽しく元気に躍動する加美を目指して」

やるのは今です。

取材：農業委員 今野 修

「ほどほどが一番」

農業委員 三浦良人

近年、地球規模で急激な変化が多いように思われる。我々農業者にとって身近な変化は気候変動だろうが。

命に関わる異常なほどの高温、恵みの雨とは呼べない豪雨、個人的見解になるが私が幼少の頃とは明らかに変化があるように思える。

早魃で枯れた作物や山火事、水害の影響を受けた街や農地、当事者のことを考えると心が痛む。

反面、今まで気候的に難しかった作物が栽培できるようになるなどの光も見えなくもない。変わっていくものを止めることはできないのなら、こちらが柔軟に変わらなければならぬ。

歴史で見る気候は二〇〇年程度は比較的安定していたように思える。今が異常なのか今までが恵まれていたのか、二〇〇年程度など星から見れば瞬きの時間にさえならないかもしれない。

地球上の万物に優しくとは甚だ烏合がましいが、不安より感謝で天を仰げるよう、ほどほどでお願いしたい。

編集後記

新型コロナウイルスが5類に移行になり、マスクを外している方が多く見られるようになりました。さて今年度から、地域における農業の将来の在り方、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため「地域計画」策定を進めることになりました。

農業委員会の役割は「目標地図の素案の作成」です。「地域計画」を策定・実行することは大変難しいことだと思います。地域の皆さんと話し合い、活動を行っていきますのでご協力をお願いいたします。

編集委員 高橋秀生



農業委員の活動をチェック

全国農業新聞

農業者の立場に立って編集・発行している農家のための情報紙です!

- ◎発行日 毎週金曜日
- ◎購読料 月額700円(税込)
- ◎発行所 全国農業会議所
- ※購読の申し込みは農業委員会へ

編集委員

- 委員長 中村 貴美子
- 副委員長 畠山 智史
- 委員 佐藤 とも
- 委員 高橋 秀生
- 委員 青木 拓也
- 委員 三浦 良人
- 委員 尾形 明

加美町農業委員会事務局
☎0229-67-5411

全額控除が魅力大!将来のために
農業者年金という選択肢があります!

老後の備えは国民年金+農業者年金

～老後生活への備えは十分ですか?～

ポイント 1 支払った保険料は
全額社会保険料控除の対象!

ポイント 2 **運用利益は非課税!**
そのほか生涯を通じて
様々な税制面での優遇措置がある!

ポイント 3 農業経営の状況に応じて
保険料を増額し、節税額をアップ!

■保険料控除分の節税額(所得税・住民税)の目安

課税対象所得	税率	月額2万円	月額6万7千円
195万円以下	15.1%	3万6千円	12万1千円
195万円超330万円以下	20.2%	4万8千円	16万2千円
330万円超695万円以下	30.4%	7万3千円	24万4千円

問い合わせは農業委員会、お近くのJA加美よつばまで